

ロジスティクスの基本と 業務調整員の役割

日本DMAT隊員養成研修
職種別講義 業務調整員

事前配付資料

2022/05/11改訂

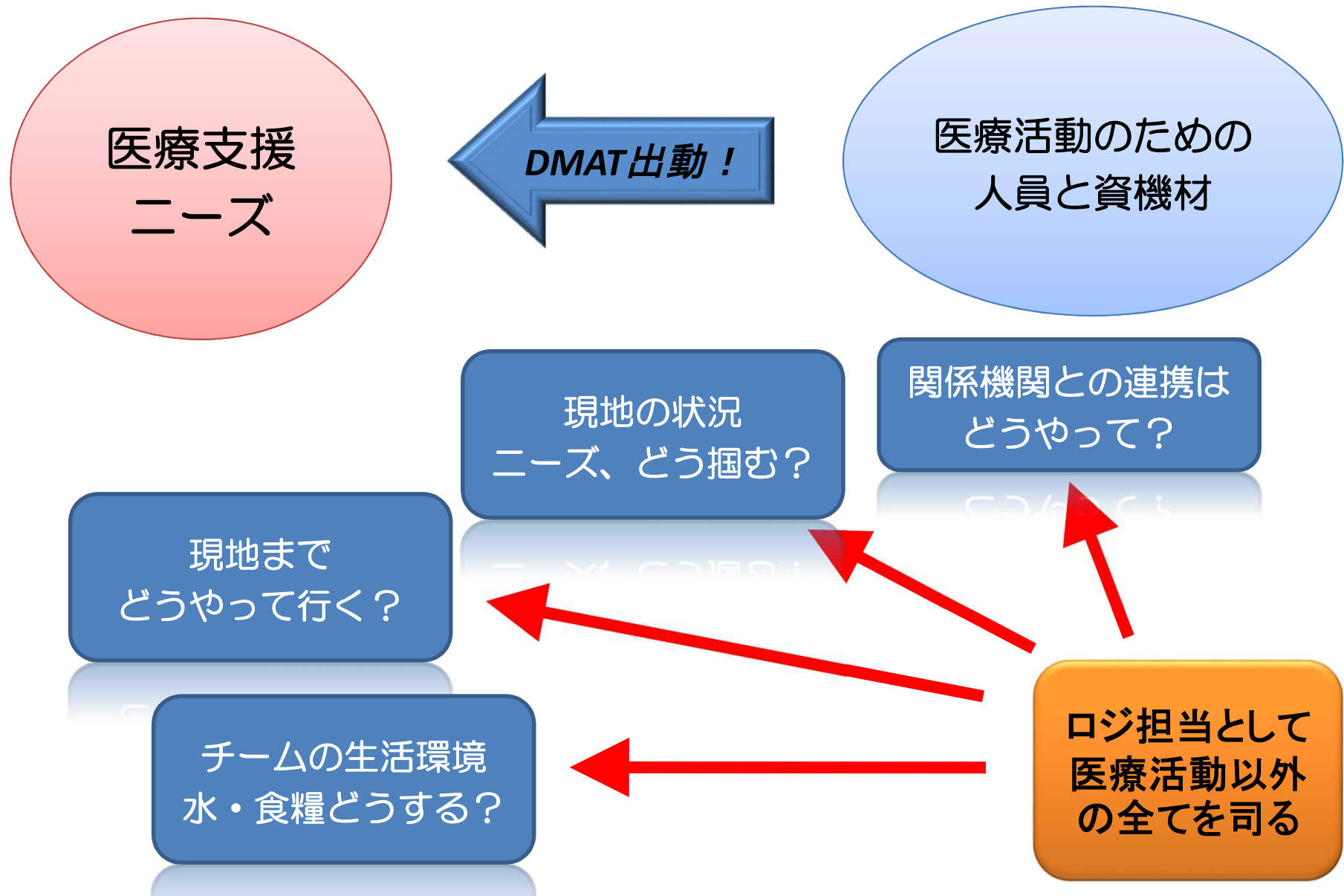
「ロジスティクスの基本と業務調整員の役割」 獲得目標

- 業務調整員の役割を理解する
- ロジスティクスの考え方を理解する

ロジスティクスとは？

- 辞書によると・・・ロジスティクス【logistics】
 - 兵站(へいたん): 戦闘部隊の後方にあつて、人員・兵器・食糧などの前送・補給にあたり、また、後方連絡線の確保にあたる活動機能
 - 企業が、必要な原材料の調達から生産・在庫・販売まで、物流を効率的に行う管理システム

ロジスティクス要員はなぜ必要か？



用語の定義：ロジスティクス (日本DMAT活動要領)

- ロジスティクスとは、医療活動に関わる通信、移動手段、医薬品、生活手段等を確保することをいう。
- DMAT活動に必要な連絡、調整、情報収集の業務等も含む。
- DMATのチームの一員としてのロジスティック担当者に加え、DMATロジスティックチームがロジスティクスを担う。

DMAT活動におけるロジスティクス (日本DMAT活動要領)

VI DMATの活動

3. ロジスティクス

- DMATは、DMAT活動に関わる通信、移動手段、医薬品、生活手段等については、自ら確保しながら、継続した活動を行うことを基本とする。
- ロジスティクスは、DMATやDMATロジスティックチーム、DMAT補助要員が担当する。
- 厚生労働省、都道府県、DMATロジスティックチーム等は、DMAT活動に関わる通信、移動手段、医薬品、生活手段等に関し、関係業界(通信関係、ヘリコプター、レンタカー、タクシー等の交通関係、医薬品等の卸関係等)に対して、その確保を依頼するとともに可能な限り支援・調整を行う。
- DMATの派遣元の都道府県は、派遣したDMATへのロジスティクスを可能な限り行うことが望ましい。
- 日本赤十字社、国立病院機構等は、厚生労働省、都道府県等の要請に応じ、DMAT活動に関わる通信、移動手段、医薬品、生活手段等の確保を可能な範囲で行う。

リーダー：
判断

災害時のManagement:6R

Right Information：
適切な情報

Right Coordination
and Cooperation：
適切な調整・協力

Needs

Resource

Right Time：
適切な時

Right Place：
適切な場所

医師・
看護師：
TTT実施

調整員：
環境整備
(活動・生活)

調整員：
情報収集・
伝達・共有

調整員：
通信を確保

調整員：
調整

調整員：
リソース輸送

Right Person：
適切な人

Right Materials：
適切な機材

調整員：
リソース確保

業務調整員の役割

- 通信の確保
 - 情報の収集・記録・伝達・共有
 - 関係機関との調整
- 情報**
- 資源の確保
 - 資源の移動/輸送
 - 活動現場の環境整備(活動・生活)
- 資源**
- ⇒情報と資源の管理

業務調整員の役割①

情報管理

- 通信の確保
- 情報を収集・伝達・記録・共有
- 扱う情報
 - 資源に関する情報
 - 需要に関する情報

業務調整員の役割②

資源管理

- 資源を把握・確保・維持・移動/輸送
- 扱う資源
 - ヒト：DMAT、他機関
 - モノ：活動及び生活に関わる資機材・物品
 - お金
 - 移動手段・輸送手段
 - 場所：活動環境・生活環境に関わる場所

業務調整員の役割(追加)

生活環境整備

- チームの生活環境整備も大事な仕事
- チームが最大限の能力を発揮するために
(資源(ヒト)の管理の一環)
 - 食料の確保・提供
 - 休憩場所の確保
 - 宿泊場所の確保
 - トイレの確保

大規模事故・災害への体系的な対応に必要な項目

CSCATTT

C : **C**ommand & **C**ontrol 指揮と連携
S : **S**afety 安全 災害医療
C : **C**ommunication 情報伝達 体制の確立
A : **A**ssessment 評価

T : **T**riage トリアージ 災害医療
T : **T**reatment 治療 活動の実施
T : **T**ransport 搬送

(英国MIMMS® *Major Incident Medical Management and Support*) より引用、改変

CSCA: 業務調整員が最低限行うべきいくつかのこと

DMAT本部への到着時、活動場所での活動開始時に、
これらのことを考える、確認する

- **C: Command & Control**
(指揮と連携)

【指揮】DMATの指揮系統の
把握と連絡方法の確認

- 誰の指揮下？
- どうやって連絡？
- 役割分担は？

【連携】連携する関係機関の
把握と連絡方法の確認

- 誰と連携？
- どうやって連絡？

- **S: Safety (安全)**

- 危険情報は得たか？

- **C: Communication**
(情報伝達)

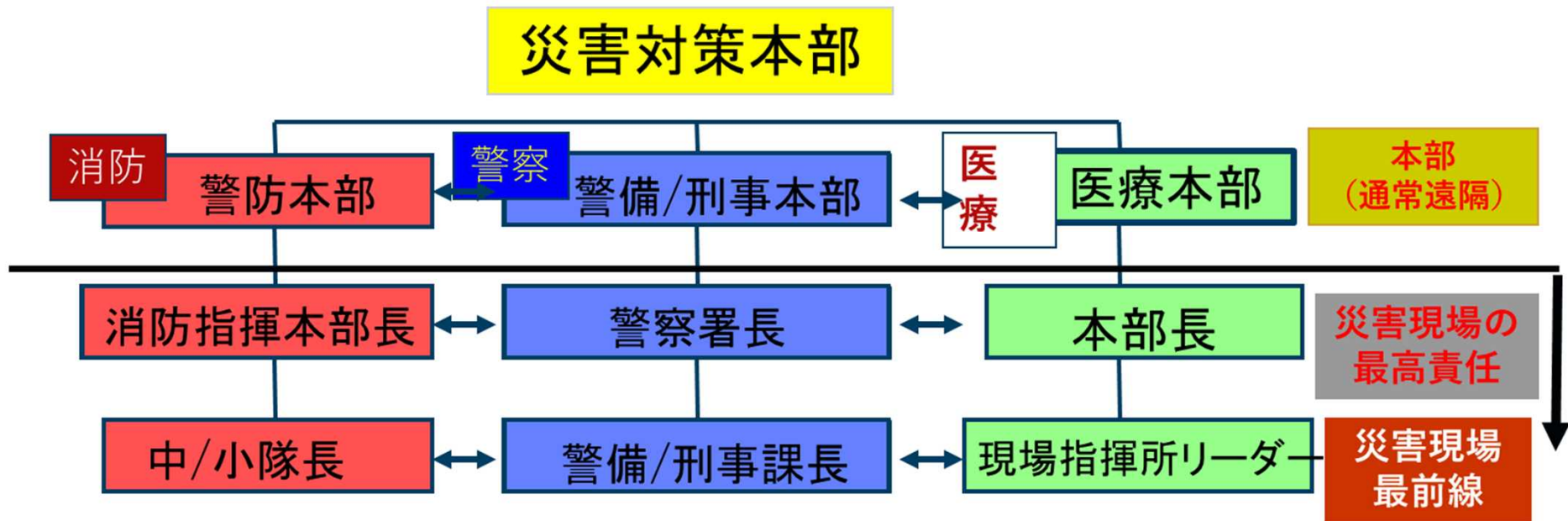
- 通信の確保
(通信手段)
- 通信の確保
(コンタクトリスト)
- EMIS

- **A: Assessment (評価)**

- 情報管理
- 資源管理



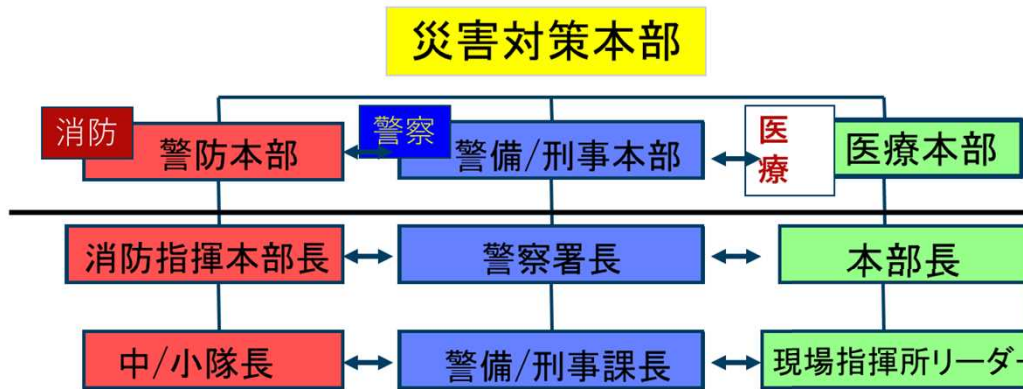
Command 指揮, Control 統制・調整・連携



確立すべきは 各機関内での“タテ”の指揮命令系統 と
各レベルでの関係各機関の“ヨコ”の連携”

CSCA

Command 指揮, Control 統制・調整・連



確立すべきは 各機関内での“タテ”の指揮命令系統 と
各レベルでの関係各機関の“ヨコ”の連携

MIMMS Advanced course より引用

C: Command & Control (指揮と連携)

【指揮】DMATの指揮系統の把握と
連絡方法の確認

- 誰の指揮下? : どこ(だれ)の指揮で活動する? その連絡係は誰?
- どうやって連絡? : 連絡方法は?
- 役割分担は? : 自分たちの役割分担はどうなっている?

DMATのタテの指揮系統を確立

C: Command & Control (指揮と連携)

【連携】連携する関係機関の把握と
連絡方法の確認

- 誰と連携? : どんな関係機関がいるか? 連絡を行う担当者はだれ?
- どうやって連絡? : 連絡方法は?

ヨコの連携を確立

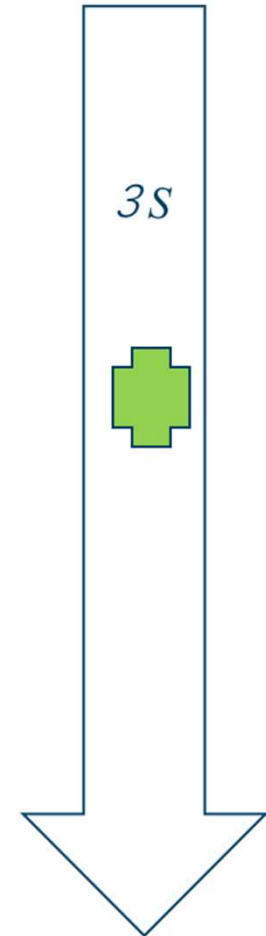
CSCA: 業務調整員が
最低限行うべきいくつかのこと

DMAT本部への到着時、活動場所での活動
開始時に、これらのことを考える、確認する



安全管理

- ◆ 危険情報の評価
 - 的確に危険の認知・予知
- ◆ リスクへの対策
 - ゾーニング
 - 個人防護具 等
- ◆ 危険情報の収集・連絡体制の確保



• S: Safety (安全)

– 危険情報は得たか？

CSCA

安全管理

◆ 危険情報の評価

- 的確に危険の認知・予知

◆ リスクへの対策

- ゾーニング
- 個人防護具

等

◆ 危険情報の収集・連絡体制の確保

3S



CSCA: 業務調整員が
最低限行うべきいくつかのこと

DMAT本部への到着時、活動場所での活動
開始時に、これらのことを考える、確認する

情報伝達 Communication

- ◆ 大規模事故/災害時対応に失敗する原因で最も多いのは、情報伝達の不備である！

(MIMMS Advanced course より引用)

- ◆ 広域災害時、通常の通信手段は使用不能となる。

- ◆大規模事故/災害時対応に失敗する原因で最も多いのは、情報伝達の不備である！

(EMIS Advanced course より引用)

- ◆広域災害時、通常の通信手段は使用不能となる。



- C: Communication (情報伝達)

- 通信確保 (通信手段):

使用する機材は？ 使用できる場所は？ 使える人は？

- 通信確保 (コンタクトリスト):

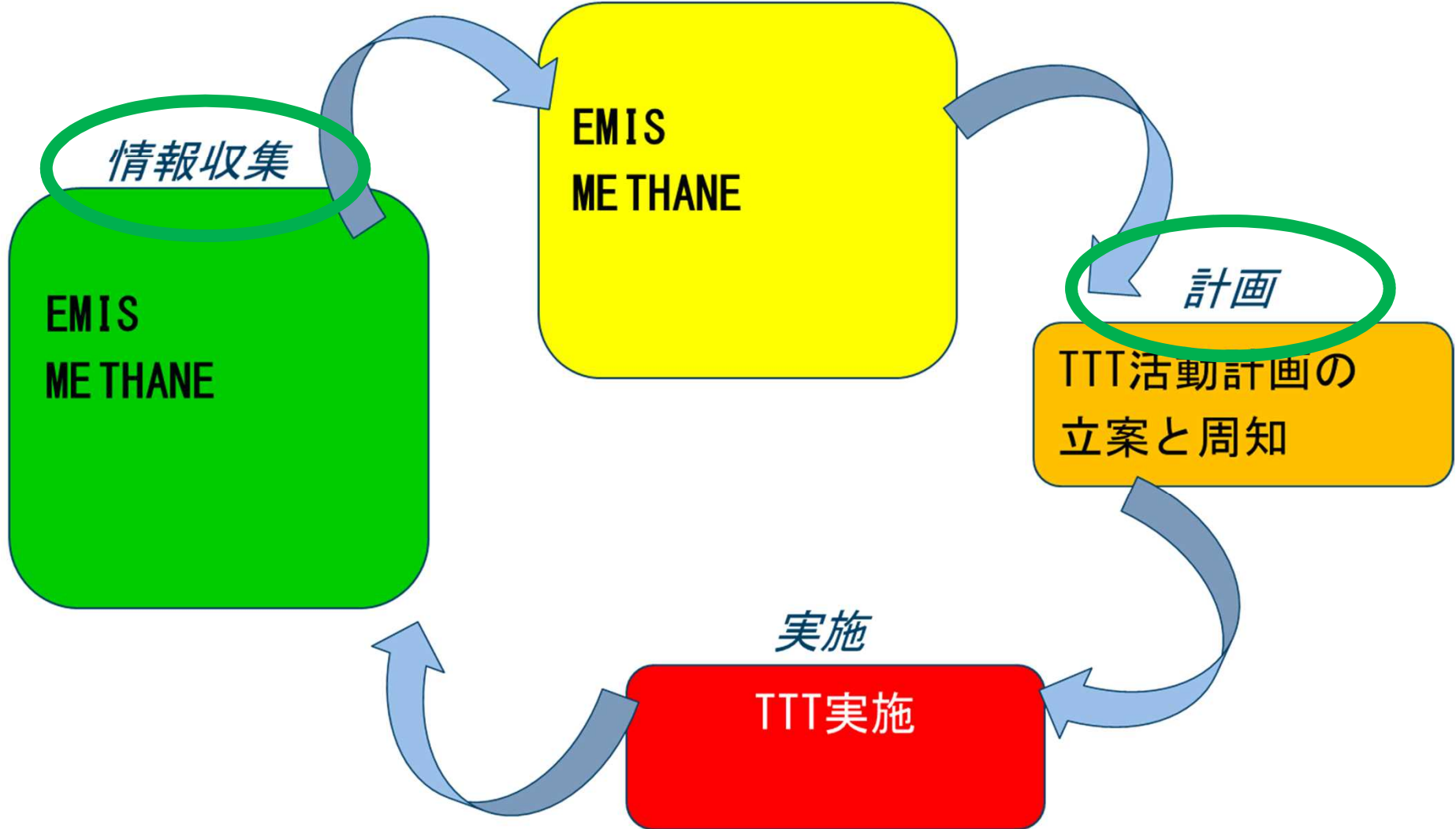
相手の電話番号は？ 無線のチャンネルは？

- EMISは使えるか？



評価 Assessment

評価

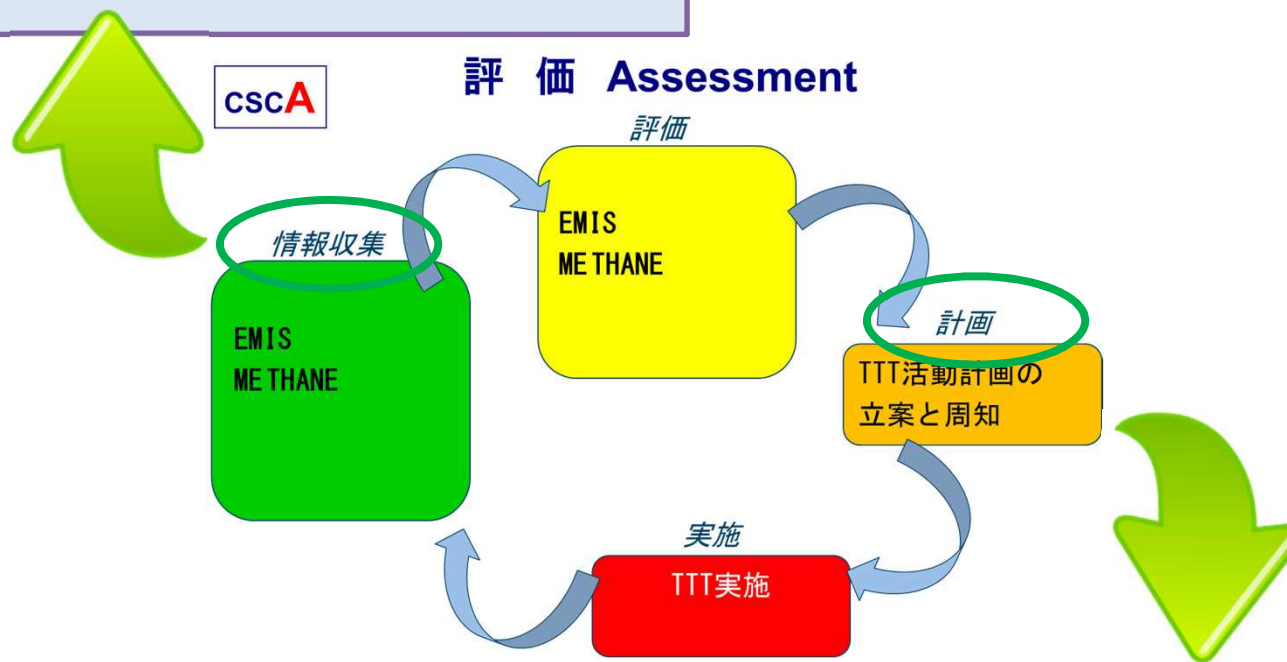


- **A: Assessment (評価)**

※本部・活動場所到着時に限らず行うこと

- **情報管理**: リーダーが必要とする情報は何か？それを収集・記録・伝達・共有する

CSCA: 業務調整員が最低限行うべきいくつかのこと



- **A: Assessment (評価)**

※本部・活動場所到着時に限らず行うこと

- **資源管理**: 活動・生活に必要な資源は何か？それをどうやって確保する？

CSCA: 業務調整員が最低限行うべきいくつかのこと

DMAT本部への到着時、活動場所での活動開始時に、
これらのことを考える、確認する

- **C: Command & Control (指揮と連携)**

【指揮】DMATの指揮系統の把握と連絡方法の確認

- 誰の指揮下?: どこ(だれ)の指揮で活動する? その連絡係は誰?
- どうやって連絡?: 連絡方法は?
- 役割分担は?: 自分たちの役割分担はどうなっている?

【連携】連携する関係機関の把握と連絡方法の確認

- 誰と連携?: どんな関係機関がいるか? 連絡を行う担当者はだれ?
- どうやって連絡?: 連絡方法は?

- **S: Safety (安全)**

- 危険情報は得たか?

- **C: Communication (情報伝達)**

- 通信確保(通信手段): 使用する機材は? 使用できる場所は? 使える人は?
- 通信確保(コンタクトリスト): 相手の電話番号は? 無線のチャンネルは?
- EMISは使えるか?

- **A: Assessment (評価)** ※本部・活動場所到着時に限らず行うこと

- 情報管理: リーダーが必要とする情報は何? それを収集・記録・伝達・共有する
- 資源管理: 活動・生活に必要な資源は何? それをどうやって確保する?

救援チームの基本：自己完結

- 自己完結を目指したロジスティクス
 - 被災地に負担をかけない救援活動の基本
 - 活動のために必要な資源を自ら携行・確保する
 - 通信手段の携行
 - 必要な資機材、物品の携行
 - 活動中の必要な資源の確保
(被災地外での確保が基本)
 - ロジスティクスのための体制
 - 所属病院によるサポート
 - 所属DMAT本部との連携
 - 所属都道府県によるサポート
 - DMATロジスティクスチームとの連携

DMATロジスティックチーム

- DMATロジスティックチーム
 - DMATロジスティックチームは、DMAT都道府県調整本部等の本部業務において、統括DMAT登録者をサポートする。
 - DMATロジスティックチームは、主に病院支援や情報収集等のロジスティクスを専門とした活動を行う。
- DMATロジスティックチーム隊員
 - DMATロジスティックチーム隊員は、厚生労働省等が実施する「DMATロジスティックチーム隊員養成研修」を修了し、厚生労働省に登録された者である。
 - DMATロジスティックチーム隊員は、災害時にDMATロジスティックチームとして活動する資格を有する。

業務調整員の心構え

- 業務調整員の3K: 機敏・機転・気配り
 - 限られた時間での対応
 - 限られた資源(人・モノ)による対応
 - 災害現場という被災者・救援者ともに厳しい環境

